

窓友

そうゆう



2025.9
Vol.10

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

— 大阪教育大学 —
同窓会天遊会会報



Contents

- | | | | | | |
|----|----------------------------|----|---------|----|--------------------------|
| 02 | GREETING | 05 | 在校生の活躍 | 10 | 令和6年度事業・決算報告/
役員・顧問名簿 |
| 03 | 第9回ホームカミングデー実施報告/
大学の様子 | 06 | 卒業生の活躍 | 11 | 名簿管理システム |
| 04 | クラブ紹介 | 08 | 卒業生の活動 | 12 | 第10回ホームカミングデーのご案内 |
| | | 09 | 天遊会会員特典 | | |



GREETING



天遊会会長

島内 武

昭和43年

教員養成・小・生物 卒

天遊会の10年とこれから

昨年度、大阪教育大学は創基150周年を迎えました。多くの方々のご協力、ご尽力で、盛大にその式典が行われました。その式典に参列しておりました同窓生として、大変大きな喜びを感じることができました。

そして、本年度、私たちの大阪教育大学同窓会天遊会が、創設10周年を迎えることができました。多くの卒業生・修了生の期待を受け、平成27年(2015年)8月、天遊会が誕生し、10年間歩み続けました。この天遊会会報「窓友」も、一度も途切れることなく、記念すべき第10号を発行することができました。

天遊会が産声を上げた時は、前例となるものもなく、これからの運営等について、不安がいっぱいでした。しかし、大学の歴代学長先生はじめ、同窓生連携室関係の教職員のみなさま方の多大なご支援や、会員の方々のご協力・ご理解のもと、学生支援、大学への協力

等さまざまな事業を実施することができました。現在では、学生も会員となり、多くの会員をかかえるまでにになりました。

多くの方々との関わり合いや、ふれ合いに心を和ませ、温かい激励を寄せていただいた10年間だったと実感しています。心よりお礼申し上げます。

大阪教育大学は、150年にわたる輝かしい歴史と伝統をもつ、我が国有数の教育大学です。その使命を果たすべく創造的な大学をめざしています。その大阪教育大学により相応しい全学同窓会として発展していけるよう、天遊会役員一同努力してまいります。

会員のみなさん、これからもご協力をどうかよろしく願いたします。



学長

岡本 幾子

同窓会天遊会創設10周年に向けて

大阪教育大学は、1874(明治7)年、難波別院内の教員伝習所をその起源とし、昨年(令和6年)、創基150周年、開学75周年を迎えました。昨年開催いたしました創基150周年記念式典には多くの卒業生の皆様にご出席いただき、また、式典開催にあたり、同窓会天遊会から多大なご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

記念式典では、大阪教育大学が先導的な教員養成系大学として進化を続け、とりわけ教育界において素晴らしい人材を育成することにより、日本の未来の教育を先導し、教育の充実と発展に寄与するというビジョンを共有することができ、実りある式典となりました。

さて、同窓会天遊会は、柏原キャンパスへの移転統合を機に、すべての卒業生・修了生を対象とする全学同窓会として2015(平成27)年8月1日に発足して以来、今年で創設10周年を迎えることとなりました。心よりお祝い申し上げます。

同窓会天遊会は、前身の天王寺分校出身者を中心とした友松会、池田分校出身者を中心とした瓊池会、平野分校出身者を中心とした常磐会の3つの同窓会組織を承継し、大阪教育大学の今後の活動に対し一層貢献を図っていくための総体として組織され、現在の会員数は6万7千人を超えております。歴史と伝統を実質的に担っている同窓会天遊会の皆様の献身的な活動が、今後も本学の教育研究活動に力を与えてくださることを願っております。

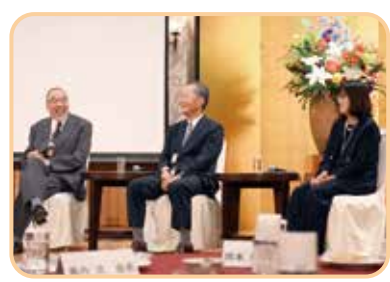
本学は現在、教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、令和の日本型学校教育を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくためのけん引役としての役割を担っております。我が国有数の教員養成大学として教育の充実と文化の発展に貢献できるよう、今後とも同窓会天遊会と手を携え、共に歩んで行きますことを心強く思うとともに、同窓会天遊会の益々の発展をお祈り致します。



第9回 大阪教育大学 ホームカミングデー実施報告

「第9回ホームカミングデー」と「大阪教育大学創基150周年記念式典」を、
令和6年10月27日(日)にシェラトン都ホテル大阪で同日開催しました。

第9回ホームカミングデーは、5年ぶりの対面開催となり、138人の卒業生が参加しました。メイン司会は放送研究会の学生が務め、開会の挨拶として岡本幾子学長及び島内武大阪教育大学同窓会天遊会会長のスピーチがありました。



メイン企画のトークコーナー「本日限定!! 私が大教大生だった頃～今だから言える○○な話～」には、ゲストとして長尾彰夫氏(元本学学長)、安井義和氏(本

学名誉教授)、國光妙子氏(附属天王寺小学校主幹教諭)が登場し、司会進行は本学卒業生で元朝日放送アナウンサーの乾龍介氏が務めました。本コーナーでは、ゲストや参加者からの思い出話が披露され、乾氏が時折会場の反応を伺う場面もあり、世代を超えた卒業生同士が思い出を共有し、交流を深める場となりました。最後には、混声合唱団を中心に参加者全員で学園歌を合唱し、会を締めくくりました。



大学の様子

大阪から日本の教育を変えるため本学は進化を続けます

令和7年4月 博士後期課程を設置しました。

臨床的な研究力と教員養成の学識を備えた「教員養成担当大学教員」や「教員研修担当者」等を養成するため、大規模な単科の教員養成大学である北海道教育大学と大阪教育大学と福岡教育大学が協力し、共同教育課程の制度を用いた後期3年のみの博士課程を、令和7年4月に設置しました。



詳細はこちら

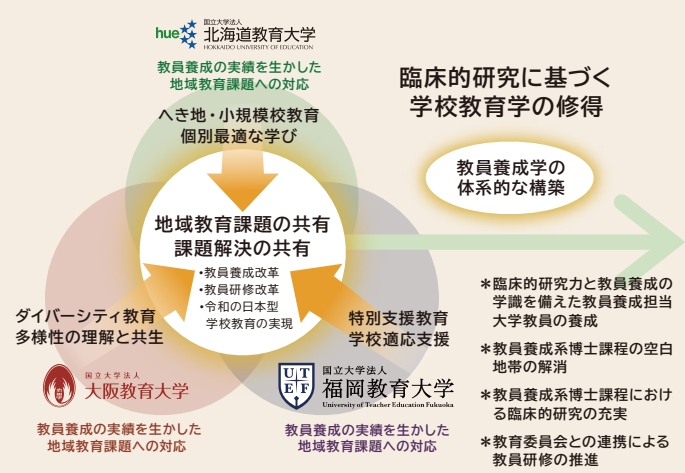
3つのポイント

学校現場を
フィールドとした
臨床的研究

教員養成に係る
大学教員や
研修担当者の養成

教育課題を
多様な側面から
捉える研究体制

大学の強み・特色の融合による共同教育課程の設置



大阪教育大学 大学祭準備会

委員長 2回生 大庭 英里香



大学祭準備会は、大阪教育大学柏原キャンパスで開催される二つの学園祭「五月祭」と「神霜祭」の企画・運営を担う学生団体です。準備から、当日の進行まで、舞台の裏側からすべてを支える“縁の下の力持ち”として活動しています。

私は委員長としてこの準備会に携わっています。もともと、人と関わりチームをまとめることは得意でしたが、「指示を出す」という点にはあまり自信がありませんでした。委員長としての役割を担う中で、誰かに動いてもらうには、ただお願いするだけでなく、目的や意義を伝え、相手が納得して動ける環境を整えることが重要だと痛感しました。

準備会の活動には、多くの人が関わるため、調整や連絡に想像以上のエネルギーを要します。五月祭では主に新入生が学科・コース単位で出店し、仲間とともに大学生生活最初の思い出を作ります。私たちはその裏側で、備品の貸し出し手続きやスペースの配置、全体のスケジュール調整などを担当し、新入生が安心して楽しめるよう支えています。準備会側に回って初めて、出店していた頃とはまったく違う視点で学祭を見られるようになりました。

秋に開催される神霜祭は、全学年の学生が出店・展示・発表を行い、大学での学びや活動の成果を内外に発信

する大規模な学祭です。神霜祭は地域の

方や受験生、ご家族連れなど多くの

方に親しまれる行事であり、私たち

運営側にとっては大学の

「顔」としての役割を担う大切な

機会です。

私たち準備会は、その大きな

舞台を学生の手で創り上げ

ます。出店団体との打ち合わせ

や外部との調整、パンフレットの

作成、安全対策の確認など、細や

かな配慮が求められる仕事です。私は委員長として多くの判断を迫られる中、時には悩み、反省することもありましたが、仲間と協力し一つひとつ形にしていく過程はかけがえのない経験であり、自分の成長を実感できる場でもありました。

学祭終了後の片付けの際、学生から「本当に楽しかった」「準備会の皆さんに感謝しています」と声をかけていただいたとき、心からこれまでの頑張りが報われたと感じました。この心に残る一日を自分たちの手で創れたことは、委員長として、そして一人の学生として何にも代えがたい宝物です。

大学祭準備会の活動は、表舞台ではありませんが、多くの笑顔や思い出を支える“縁の下の力持ち”として、私はこれからも大切にしていきたいと思います。私たちの活動が大学の魅力を伝え、学生一人



ひとりの学びと成長の場となることを願っています。

最後に、この場をお借りして、学生・卒業生・地域の皆さまが一堂に会し、大阪教育大学の魅力を共有できる学祭の実現に向け、今後ともご理解とご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大学祭準備会Instagram▶

部員数 39人(2025年8月現在)

創部年 1993年(平成5年)



@DAIKYO.JITSUI

みんなが快適に過ごせる天王寺キャンパスに

初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース(3回生) 船津 彬登(兵庫県立夢野台高等学校卒)



船津彬登さんは、天王寺キャンパス学生自治団体「学生局」の局長を務めています。学生局は、教育実習などで使用する物品を保管している施設の管理、アルバイト紹介や教職相談会などの大学生活に役立つ企画の立案・運営、大学と学生をつなぐ窓口役という三つの活動を行っています。「局長として、学生局がこれまで培ってきた実績と信頼を生かして、天王寺キャンパスの学生が快適な大学生活を送れるような環境づくりをめざしています」と、力強く語ります。

学生局は学生の代表という立場のため、入局するには学生間の選挙で当選する必要があります。「中学・高校時代から生徒会にとっても興味があったのですが、部活との両立が難しく入れませんでした。しかし、大学にもそうした自治団体があると知り、どうすれば入れるのかを先輩に聞いて立候補しました」と語ります。当選後は、目まぐるしく活動に取り組みます。「一年目は教職相談会という企画の責任者を任されて、先輩に助けをもらいながらやり切ることができました。二年目に活動を続ける中で、前の局長の『学生の意見を聞く姿勢』を見て、学生に寄り添う学生局であり続けたいと思い、三年目で自分も局長になりました」

局長になってからは、局員を支える側として特に後輩との関わりを大事にしており、「僕はこれまで先輩にたくさん助けられてきたので、今度は後輩に頼られる存在になれるように頑張っています。後輩が文書の作成を頑張っていたり、自分から意見を出したりするなどの



成長を感じるのがやりがいです」。天王寺キャンパスは夜間に通う学生が多いですが、昼間コースもあるので、今後は昼間に通う学生の意見も集めることができる組織をめざします。

ここまで学生のために活動できるのも、天王寺キャンパスの人たちの温かさに触れることが多いからだと言います。「正直に言うと、入学するまでは世間一般で考えられているようなキャンパスライフを過ごせるというイメージはまったくありませんでした。しかし実際は真逆で、入学の日には駅前で先輩が出迎えてくれたうえに、新入生歓迎行事や大学祭をはじめ同回生以外とも関われる機会が多いので、楽しい大学生活を過ごせています」

そんな天王寺キャンパスの人たちは、船津さんの将来像にも影響を与えています。「将来、小学校の先生になりたいと思っているのですが、授業展開や発問の仕方の工夫など、みんなから学ぶことが多くあります。また、

会ったときには『おはよう』、何かあったら『ありがとう』という言葉が日常に溢れていて、それが当たり前に出てくる環境がとても居心地が良く、この価値観を先生になっても大事にしていきたいです」。理想の先生像について聞くと、「児童に寄り添って、支え続ける先生になりたいというのはずっと思っています。また、学校現場で授業や教員の仕事を見学する観察実習に行った際、授業をきちんと受けている児童が多いクラスほど、学級経営がうまくいっていると感じたので、児童の興味を引き出す授業を作れる先生になりたいです」と意気込みます。

学生局の局長として学生の声を集め、ニーズに沿った企画を運営している経験と、周りの人たちの温かさを感じ取れる感性をもっている船津さんであれば、きっと自身の描く理想の先生になってくれるでしょう。





Kawasaki × Nakatsukasa

プロフィール

川崎 詩織

2020年度 教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース 卒業
 2022年度 大学院 教育学研究科 高度教育支援開発専攻
 教育ファシリテーションコース 修了
 2023年度 公益財団法人堺市文化振興財団 事業課

中務 晴之

表現活動教育系 芸術表現部門 特任教授



本編動画

中務 アートコーディネーターとはどういふことをするのですか。

川崎 堺市文化振興財団ではアーティストと一緒に地域のこども園、学校、こども食堂を訪れるアウトリーチ事業を行っているのですが、私たちコーディネーターは、実施先のことや関わるアーティストのことを理解し、そこでどんな時間を作れるとよいかを考え、実施に向けて様々な調整をしています。こういう現場にはこういうアーティストがピッタリなんじゃないかということを考えるんですけど、現場のこととアーティストの良さを



Nakata × Ishibashi

プロフィール

中田 綾乃

2020年度 教育協働学科 教育心理学専攻 卒業
 2022年度 大阪大学大学院 人間科学研究科 修了
 2024年度 兵庫県立ピッコロ劇団

石橋 正浩

総合教育系 心理学部門 教授



本編動画

石橋 当時の教育心理学専攻の1期生ということで、大学時代に特に意識して学ぼうと思ったことを教えていただけますか。

中田 もともと心理学に興味があって大阪教育大学に進学したんですけど、入学してみるとすごく幅広く学べました。生涯学習や社会福祉、他専攻の授業も積極的に取りに行き、心理学にあった興味や好奇心がだんだんと教育や学ぶということにも向かうようになりました。ですので、できるだけ幅広く興味を持って勉強しようということを意識していたかと思います。



Takami × Katagiri

プロフィール

高見 享佑

2011年度 教養学科 自然研究専攻 物質科学コース 卒業
 2014～2021年度 大阪府立高等学校 理科教諭
 2025年度 理数情報系 数理・知能情報部門 准教授

片桐 昌直

理数情報教育系 環境安全科学部門 特任教授(副理事・副学長)



本編動画

片桐 経歴をお聞きすると、生体物質科学から教育の研究に変わりますが、大学時代と今で思いに違いはありますか。

高見 大阪教育大学に来た理由は、人に興味があったというところから、将来的なことを考えると、人と接する職業として教員かなと思って。教員免許を取りたいという動機と、分子レベルで人をより深く理解したいということで、その当時、神経科学や遺伝子といったバイオロジー分野が話題になっていましたので、基礎的なところからしっかり学びたい

大阪教育大学キャリア支援センターと教育協働学科がコラボし、芸術系、心理系、理系(情報)の教員と卒業生の対談動画を制作しました。出演いただいた卒業生から、大学で学んだ「専門性」や「協働力」を社会人としてどのように活用しているかなどについてお話しいただきました。制作した動画は、教育協働学科1回生必修科目「教育協働キャリア形成」(令和7年度前期)の教材としてオンデマンド配信を行いました。今回、この対談の一部を紹介いたします。本編はYouTubeでご覧いただけます。



理解していないとできないので、そこが難しいと思います。

中務 まさに地域と演奏家、あるいは芸術家をつなぐ教育協働にふさわしい内容の仕事ということですね。

川崎 大学で学んだことがこんなにぴったり生きてる仕事はないんじゃないかと思っています。今振り返ると学生時代の経験が生きてると思うんですけど、当時はこうなるために意識して勉強しようと思っていたわけではなく、学部の時とはとにかくレッスン、試験、オーケストラの定期演奏会に向けて目の前のことをちゃんとやるっていうことを意識していたと思います。

中務 プレゼン能力プラスコミュニケーション能力、それは教育協働学科の一番大切なことの一つだと思うんですけど。演奏を通じていろんな方と知り合い、みんなに喜びを与えとか、そういうことを目指し

ている。そこもやっぱり実感としてはあったのではないのでしょうか。音楽表現コースは個人の技術を高めることだけでなく、オーケストラやアンサンブルや吹奏楽、団体にグループワークする機会は本当に多くて、そこでいかに音程を合わせる、フレーズ間を合わせるとか、そういう意味でも、このコミュニケーション能力を活用して、一つのものを作っていく。こういうグループワーク的なことが役に立ったと思います。

川崎 アーティスト側の考え方や生き方みたいなのも経験してきたと思っていますし、教育分野のことも学べているので、現場やアーティストと連携する時は、橋渡しの役割で、それぞれの考えや思いが伝わるようにお話をしています。大学時代に学んだことが今の仕事に結びついているのかなと思います。



石橋 最初に思っていた心理学のイメージとどうですか。

中田 全てが繋がってるということを学ばせてもらったと感じています。心理学の勉強をしても、どこかで社会福祉の課題が出てきたり、心理学に教育が繋がっていることが勉強になりましたし、今もその考え方に基づいているんなことをしていると思います。手話も勉強してんですけど、聴覚障害を持った友人ができると、また見える世界が変わってきます。授業を一緒に聞いていて、どうやったら伝わるかなと考え、フィードバックをもらい、支援について私ができることって



何かなのということを考えるきっかけになりました。

大学を卒業する時にはどちらかという教育や学ぶってということがどうということなのかというところに興味移って、すごく幅を広げてもらったという印象があります。

と思って教養学科を選びました。人に関する様々なカリキュラムがしっかり整備されていたという点では非常に良かったと思っています。

片桐 基礎研究は他大学の理学部でもできるんですけど、結果的に現在の研究は、やはり本学ならではの、そのあたりは理学部と本学で学ぶことの違いで何か思われることはありますか。

高見 いわゆる教員養成に必要な科目、私が在籍していた時はメンタルサポートセンターで学校の危機にどう対応するか、ストレスについて現場の先生から学ぶことができましたし、発達障害を支援するボランティア活動も授業の中に組み込まれていましたので、その点は大学院での学びのモチベーションにつながったと思います。

片桐 特に教育を研究する上で協働力は必要。理学の研究では実験して終わりだけど、教育となるとそのあたりは意識せざるを得ない感じですかね。



石橋 実際に学んでいくと、あれとこれがつながってるってことに気がつくくださる方も多くなって思うんですけども。

中田 そうですね。私は在学中、ピッコロ演劇学校という兵庫県立尼崎青少年創造劇場に併設されている学校に通ってんですけど、そこでの学びも先生方に応援していただいたり、興味を持っていただきました。今も研究に携わっているので、その研究の基礎は大阪教育大学で学んだと思うんですけど、仕事をする上で根本の部分になっているのが、大学の授業ってすごくアクティブラーニングとかグループワークが取り入れられていたなという印象があって。いろんな人と話す機会ですべて違う意見が出てくるものを一つにまとめていくことは、今の演劇活動でも研究でも役に立ってると感じますね。

高見 教育データサイエンスではデータをどのように指導に役立てるか、教員の目線、エビデンスに基づく政策立案みたいところは自治体の目線、そういったものを下支える良い学習支援システムを作るには研究者の目線で、うまく協働、協調しながら教育にとって必要なことをやっていくために様々なステークホルダーと協働するというようなことが大事かなと思います。

片桐 その時に教員の経験は役に立っていますか。

高見 教員は常に人や子どもたちを相手にするような職種ですし、かつ、学校の特徴は、他の業種とは若干違うものがあるのかなと高校の教員をやっていた思い出だったので、経験はすごくアドバンテージ、研究の話にしても企業の方とお話しする上でも非常に役立っていると思っています。



卒業生の活動

卓球部 OB・OG会

卓球部OB・OG会 会長 浅井 宏純(1982年卒)



卓球部では、毎年、現役とOB・OGが一緒になって、「新年会」(OB・OG会)を開催しています。

午前中は、現役とOB・OGが対抗戦を行います。出席するOB・OGの年齢は20代から70代まで幅広く、幾つになっても若い世代の人と一緒に真剣勝負できることが、卓球というスポーツの素晴らしいところであり、本当に卓球をしていてよかったと実感できる時です。

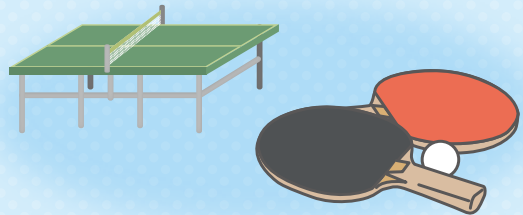
午後からは懇親会で、現役とOB・OG、また世代を越えた同

窓会交流となり昔話が花が咲き大いに盛り上がります。大教大卓球部で部活動をしたからこそ繋がることのできた素晴らしい関係です。

現在は、OB・OG会のグループLINEを作成し現役生も含め、関西学生リーグの日程や結果、卓球部の練習日、OB・OG会の連絡等の情報交換ができるようになりました。

OB・OG会としては、現役卓球部のサポート活動を中心に、毎年8月に開催される全国教育(学芸)大学卓球選手権大会にOB・OGチームを組んで、現役と一緒に参加し総合優勝をめざしています。

また、今年度から、当会の前会長が全国教育(学芸)大学卓球連盟の会長に就任し、全国の事務局も当会が受けることになりました。今後は、本校のみならず全国の教育(学芸)大学の卓球競技が益々盛り上がるよう取り組みたいと考えています。



バレーボール部 OB会

東大阪大学・東大阪大学短期大学部 学長 中村光男(1979年卒)

皆さんこんにちは。私は昭和54年中学校課程保健体育学科卒業の中村光男です。大阪の公立高校でバレーボールが専門の保健体育科教諭として、生徒指導部を中心に教育活動をさせていただきました。高校退職後は芦屋大学、この4月からは東大阪大学・東大阪大学短期大学部でお世話になるとともに、2年前からは大阪府バレーボール協会でもお世話になっています。

さて、この写真は毎年恒例の1月最終土曜日に実施している「大教大バレーボール部新年会」の集合写真です。本会の目的は会員の親睦と現役支援ということで、現役・卒業生が一同に会して現役の状況、学生の進路、懐かしい昔話、武勇伝などを語り合い、年齢を超えて出席者が心ひとつになる集まりです。会の途中

には各期毎に近況報告や昔話を交えて自己紹介をするひとときもあり、笑いあり、感動あり、感心する場面もありで、大学生から大大先輩まで年齢差が70歳ほどあっても、バレーボールを通じてのつながりは、心温まるひとときを生み出し、いつも元気と勇気をいただいています。この写真を見て懐かしいなあと思われる方もおられるかもしれませんね。



皆さんもそうかもしれませんが、年を重ねるにつれ、このような人生をより豊かにする瞬間が大切となってきたように感じています。これからもこのような交流を通じて、人生をより豊かにしたいと思っています。皆さんも、より豊かな人生を過ごされることを心から願っています。何かございましたらいつでもお声がけください。

天遊会会員特典

長野県白馬村の「遠見山の家」を 学生料金と同額で利用できます！

長野県北安曇郡白馬村にある本学課外教育施設「遠見山の家」。
夏は白馬岳への登山口として、冬は白馬五竜スキー場を背景にした魅力一杯の地です。
大自然に囲まれており、春や秋のレクリエーションにも最適の場所です。
同窓会天遊会会員の方は、「遠見山の家」を学生料金と同額で利用できます。



◆山の家使用料(1人1泊)

	夏期 (5/1~9/30)	冬期 (10/1~4/30)	駐車場使用料 (1台1泊)
同窓会天遊会 会員	1,100円	2,200円	550円

申込方法

使用日の7日前までに大阪教育大学学生支援課課外活動係へ使用願書兼許可書を提出し、使用日の3日前(土日祝除く)までに使用料を銀行振込にて納入してください。詳しくは大阪教育大学HPをご覧ください。課外活動係にご連絡ください。

- 大阪教育大学HP:<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>
(大学のトップページから、「学生生活」→「遠見山の家」とお進みください。)
- 大阪教育大学学生支援課課外活動係
(TEL)072-978-3310(平日9時~17時)

★日産レンタカーを天遊会の会員特別料金で利用できます。

免責補償に加入した基本料金が、通常より約20%~50%OFFでご利用いただけます。
(ご注意)日産レンタカーの店舗へ直接お申込みいただいても会員特別料金は適用されません。事前に天遊会にご連絡ください。
詳しくは天遊会HPの「会員特典」をご覧ください。(https://www.oku-tenyukai.jp/privilege/)

★年1回、天遊会の会報誌「窓友」をお届けします。

★ホームカミングデーや講演会など、天遊会が企画・共催するイベントの案内を配信します。

その他、会員特典を随時追加しています。最新の情報は、天遊会HPでご確認ください。

天遊会HP:<https://www.oku-tenyukai.jp/>

大阪教育大学同窓会天遊会 寄附者芳名録 2024年4月1日~2025年3月31日

【ご芳名】(五十音順)(敬称略)

相澤 信司(1989)	井上 博之(1973)	岸本 恭子(1980)	白銀 安紀子(1956)	富澤 洋夫(1956)	布村 織絵(2024)	古谷 節夫(1978)	山口 健太(2006)
赤崎 節子(1972)	岩田 崇子(1992)	北岡 啓子(1974)	菅野 耕三(1964)	中尾 高一郎(1959)	野口 真知子(1972)	本田 耕輔(1962)	山口 佳恵子(1962)
秋山 峻一(1966)	占部 太(1995)	北村 洋美(1963)	鈴木 朱里(2004)	中尾 紀子(1968)	橋本 勝子(1966)	本田 和子(1964)	山口 良治(1994)
安封 宇内(1963)	大澤 政徳(1962)	北村 和雄(1966)	鈴木 玉香(1966)	中尾 武志(1968)	秦 博文(1970)	松浦 哲也(1998)	山崎 祥嗣(2020)
荒岸 啓一(1964)	大谷 一郎(2000)	木村 周功(1988)	鈴木 暁史(1997)	長尾 敏一(1993)	羽端 長之(1991)	松崎 雅夫(1966)	山中 洋子(2009)
安西 美子(1979)	岡崎 建夫(1962)	楠本 久美子(1996)	高岡 直子(2004)	中川 勝文(1961)	羽山 尚一(1986)	松田 真理子(1994)	屋良 朝男(1972)
安藤 林和(1965)	岡田 和子(1960)	久保 敬(1985)	高岡 忍(2016)	中川 裕美(1980)	坂東 亮次(1963)	松原 博子(1959)	吉田 三太(2003)
碓 隆雄(1969)	岡本 円(2018)	河野 崇(1983)	多田 典子(1990)	永木 凱樹(1962)	東 佐久良(1986)	的場 克嘉(1962)	米村 家栄子(1954)
碓 真知子(1963)	沖野 真実(1982)	児島 真喜子(1973)	田中 孝治(1967)	中塚 清人(1975)	東尾 二郎(1989)	水谷 友次(1956)	若山 英雄(1965)
石崎 修一(1979)	小田 和希子(1984)	小堀 美和(1987)	谷口 典子(1966)	中辻 忠行(1983)	平井 由美(1992)	宮嶋 富志子(1957)	和田 秀昭(2009)
石橋 達夫(1973)	角田 穂積(1967)	小山 隆子(1977)	田村 珠生(1984)	中西 弘子(1968)	平野 響(2021)	宮本 正子(1964)	渡邊 秀聡(2019)
石山 成之(1993)	加藤 幸生(1976)	澤田 征乃(1964)	辻 一馬(1956)	中野 三栄子(1967)	廣兼 貴美子(1965)	向山 昭憲(1969)	
市橋 美恵子(1965)	鎌江 明志(1964)	四至本 千晶(2016)	辻本 靖子(1959)	中村 方子(1970)	藤田 睦(1969)	村田 史子(1987)	
伊藤 利生(1956)	神谷 雅三(1961)	柴田 鈴子(1958)	辻本 久夫(1973)	西 優一郎(2020)	淵岡 伸一(1965)	森 健(1984)	
稲田 貴美子(1958)	瓶井 典子(1981)	島内 武(1968)	津田 順子(1985)	西尾 久乃(1969)	船井 進(1959)	森下 規代子(1970)	
井上 清(1967)	川田 圭太(2008)	庄司 高子(1966)	土井 ハツミ(1957)	西端 美和子(1972)	古岡 俊之(2000)	安田 誠(2014)	
井上 雅子(1984)	川野 浩三郎(1966)	白川 由美子(2020)	土肥 美智子(1958)	西畑 哲子(1982)	古畑 等(1972)	山本 修一(1979)	

ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。()内は最終卒業年を示しています。

令和6年度 天遊会 事業報告 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月	事業
4月	令和6年度新入生に天遊会会報誌「窓友」第8号を配布
	令和6年度新入生に入学記念品をプレゼント
	大阪教育大学基金へ寄附(創基150周年記念事業のため)
6月22日	天遊会総会
7月	教員同窓会「天遊」活動への支援
9月	天遊会会報誌「窓友」第9号発行
10月27日	第9回ホームカミングデー開催
3月25日	令和6年度卒業生に天遊会会報誌「窓友」第9号を配布

天遊会役員名簿

会長	島内 武	理事	奥村 孝二
副会長	乾 龍介		石丸 真平
	三澤 正彦	理事(会計)	竹島 園枝
	渡辺 重之		田中 達
評議員	篠原 洋子	監事	井上 博之
	高田 奈津子		馬場 広之
	立川 優		
	豊岡 修		

任期: 令和7(2025)年4月1日～令和9(2027)年3月31日

天遊会顧問

岡本 幾子	町頭 義朗
鈴木 剛	出相 泰裕
峯 明秀	鈴木 真由子
藤井 睦子	柴田 慎弥
赤木 登代	川村 泰史
神宮 孝治	南山 和弘
土山 和久	



令和7年度総会報告

令和7年6月21日(土)天王寺キャンパスで令和7年度天遊会総会を開催しました。

- 議題
- (1) 令和6年度同窓会天遊会事業報告及び決算報告について
 - (2) 令和7年度同窓会天遊会事業計画及び予算案について
 - (3) 第10回ホームカミングデーの開催について
 - (4) 会報誌「窓友vol.10」の発行について
 - (5) その他

令和6年度天遊会 決算報告 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般会計

(単位:円)

【収入の部】	科目	収入実績額
	繰越金	13,478,114
	会費収入	31,830,000
	寄附金・協力金収入	898,400
	事業収入	55,847
	その他収入	26,959
	合計	46,289,320

【支出の部】	科目	支出額
	事業費	15,846,760
	総会費	65,492
	寄附金(大阪教育大学基金)	5,000,000
	大学支援費	1,543,071
	学生会員支援費	1,441,810
	会報費	4,857,544
	寄附金(会員名簿管理システム費)	800,000
	ホームカミングデー費	752,423
	支部支援費	146,420
	校友会年会費	100,000
	終身会費収入返金	1,140,000
	管理費(事務局経費)	2,535,202
	寄附金(事務局業務委託費)	2,300,000
	広報費	148,500
	事務費	19,753
	振込手数料	13,640
	コンビニ収納手数料	550
	ゆうちょ口座振込手数料	30,539
	ネットバンキング手数料	21,120
支払手数料	1,100	
特別会計繰入(※)	15,000,000	
	合計	33,381,962

収入の部合計	46,289,320
支出の部合計	33,381,962
差引残高	12,907,358

特別会計(※)同窓会館設立積立金へ繰入
差引残高12,907,358円は令和7年度へ繰越

同窓生名簿管理システムをご利用いただけます!

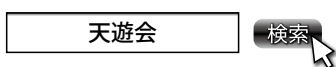
同窓生名簿管理システムでご自身の登録情報の確認と変更、同窓生の情報の検索・閲覧をすることができます。

また、転居・改姓された際にも同窓生名簿システムより登録ができます。(従来通りのFAX、電話、メールでも受付しております。)
会員専用WEBサービスご利用の手引きをご覧になって、ぜひご利用くださいますようお願いいたします。

※ブラウザ(Google Chrome,Firefox,Microsoft Edge)のバージョンが古い場合は正常に機能しない場合がありますのでなるべく最新バージョンでご利用ください。

大阪教育大学同窓会 天遊会 会員専用Webサービス ご利用の手引き

<https://www.oku-tenyukai.jp/>



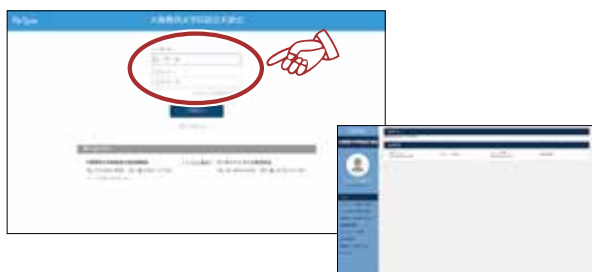
画面右下

- ① 「天遊会会員専用Webサービス」をクリックしてください。



- ② 「会員ID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、
メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。



- ✓ ログイン後、会員ID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、ログイン画面「パスワードを忘れた方」から再発行する事ができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて充分に守られますが、各会員におかれましては、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

- ③ 会員専用サイトでは主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更
- ✓ 同窓生の検索・閲覧 (WEB版同窓会名簿)
同窓生の情報のうち、公開可とされたものを検索・閲覧することができます。

- ④ ご自身の登録情報の確認と変更



- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度公開して良いか、ご自分で設定してください。「全会員に公開」「同系同年卒にのみ公開」「非公開」の設定ができます。



編集画面

- ⑤ WEB版同窓会名簿の閲覧

卒業・修了年、氏名、住所、勤務先、利用しているSNSを検索し、本人が公開を許可した情報を閲覧できます。



第10回 大阪教育大学 ホームカミングデー

大阪教育大学同窓会天遊会創設10周年記念

日時

令和7年11月1日(土)
12:30~16:10(受付12:00~)

場所

柏原キャンパス大学会館1階ダイニング・テッラ

スケジュール

- 開会挨拶
- 同窓会天遊会創設10周年記念 鏡開き
- 学生演舞(エイサー隊)
- 基調講演
- 学生演舞(空手道部)
- 記念講演
- 近況報告
- 懇親会(混声合唱団) 懇親会参加費:3,000円

基調講演

しま うち たけし
島内 武 氏



「大阪教育大学同窓会天遊会 誕生から10年のストーリー」

昭和43年 大阪教育大学教員養成/小・生物 卒業
同年 大阪市立小学校教員、
大阪市立田川・城東・大阪北小学校3校の校長を歴任
その後、大阪成蹊短期大学教授、大阪教育大学非常勤講師等を歴任
平成24年(発足)~令和7年
大阪教育大学教員同窓会「天遊」会長
平成27年(発足)~現在
大阪教育大学同窓会天遊会会長

記念講演

い ばら ぎ ゆき ま
伊原木 幸馬 氏



「聴いて歌って楽しみましょう！」 ~声楽・合唱の魅力をみなさんとともに~

平成25年 大阪教育大学教育学部教養学科
芸術専攻音楽コース卒業
平成28年 大阪教育大学大学院教育学研究科
音楽教育専攻(声楽コース)修了
令和7年 広島大学大学院博士課程後期課程修了
博士(教育学)を取得
国内外の音楽コンクール多数受賞
現在、柏原市第九を歌う会指揮者等、大阪観光大学客員准教授、
千里金蘭大学専任講師、大阪人間科学大学、大阪教育大学非常勤講師

申込方法

10月22日(水)までにお申し込みください。

○専用サイトによる受付
スマホ、タブレット、PCからQRコードを
利用してお申し込みください。



○メール・FAXによる受付

<受付メールアドレス>

dosoren@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

<受付FAX> 072-978-3317

以下の項目を記載し、メールかFAXでお申し込みください。

【必須項目】氏名(ふりがな)、ご住所、電話番号、本学の
最終学歴、卒業・修了年月、ご希望の連絡方
法(電話、メール)、ホームカミングデー参加
の有無、懇親会参加の有無

※上記のいずれも困難な場合は、電話での受付も可能です。
同窓生連携室:072-978-3695(平日9時~16時まで)

アクセス

・近鉄大阪線「大阪教育大前」駅下車
徒歩15分程度

○駅からはエスカレーター3基を
乗り継いでください。

○大学行きの近鉄バス(無料)を
随時運行しています。

※駐車場に限りがありますので、
できる限り公共交通機関をご
利用ください。

当日の参加につきまして、手話通
訳等の配慮が必要な方は9月30
日(火)までに同窓生連携室まで
お知らせください。



無料バス【11/1(土)のみ】

時刻	柏原キャンパス行き	大阪教育大前駅行き
9	25 55	45
10	25 55	15 45
11	25 55	15 45
12	25 55	15 45
13	25 55	15 45
14		
15	25 55	15 45
16	25 55	15 45
17	25	15 45

【主催】国立大学法人大阪教育大学/大阪教育大学同窓会天遊会

【協賛】大阪教育大学校友会/大阪教育大学教育振興会/大阪教育大学生活協同組合

【お問い合わせ先】大阪教育大学同窓生連携室:072-978-3695

URL:<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



大阪教育大学同窓会天遊会会報 第10号 2025年9月発行

編集・発行 大阪教育大学同窓会天遊会事務局 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 国立大学法人大阪教育大学 学生支援課内

TEL:072-978-3695(平日9時から16時) FAX:072-978-3317 HP:<https://www.oku-tenyukai.jp>